

# 日本企業の持続的な成長に向けて

名古屋産業科学研究所

藤沢寿郎

始めに

日本企業をとりまく色々な環境変化に対して、その対応に苦慮している企業は多い。即ち、世界的なネット化の進展による情報化社会の加速への対応、国内だけでなく世界を見据えたグローバル視点に対応出来なければ生き残れないという危機感である。

私達日本企業の強みを生かしながら、どの様にこの大きな課題を乗り切っていけば良いかを考えてみたい。

## 1、企業にとって最も大事な事・・・企業の持続性

企業は持続する事によって、社会的価値が上がる。韓国のある銀行が、200年以上続いている企業を調査した結果、世界で5,500社程度あり、日本が3,146社、続いてドイツが873社、オランダ222社、フランス196社、アジアでは中国2社、韓国は0と日本が世界の56%を占めている。引用するデータによって差はあるが日本が圧倒的に多いことに変わりない。その原因を考えてみると

- ・日本人の企業や個人財産の所有に対する考え方が外国と異なり、私利私欲でなく、先祖からの「預かりもの」としてとらえ、「次の代」につなげる事が役割と考えていること。
- ・古い歴史の有る企業には必ず家訓が有り、現代でいう企業の経営理念があること。
- ・地域や本業を大事にしていることで、自社の依って立つ事業の技術や顧客を大事にしている。
- ・人を大事にし、外的要因である環境の変化にも従業員全員で、自分の問題として対応している。

多くの企業が、江戸～現代と色々な社会的変化に対応してきたと言えるが、その中心に有るのは日本人的な美意識や企業の経営理念であろう。

## 2、グローバル化の進展と企業を取り巻く環境の変化

つい数年前まで、私達が海外に旅行した時、空港や免税店をのぞくと、多くの日本製品が店の中心を占めていたが、最近はデジカメを除いて、殆どの日本製の電機製品が姿を消しているのを見て淋しく感じることが多い。

自動車産業と並んで日本の産業を牽引してきた電機業界が、事業の見直しや売却、更にはリストラが進んでいるのは、グローバル化のなかでデジタル化が進み、技術がコモデティ化し誰でも安価に製造出来るようになり、価格競争等で社会のニーズに対応しきれなくなった事が原因であろう。

更に、今後グローバル化が益々進み、全てのモノがネットワークを介してつながる IOT が広がっていくと云われている。それは単にものづくりの分野だけでなく、交通、医療、物流、農業さらには私達の生活の中に影響を与えようとしている。

私達が過去に作り上げた生産システムや物流システムがインターネットというインフラが出来たことでモノの流れがより効率的で安価の方向に変化していくことが予想される。

IOT の広がりによって、私達はそれぞれの分野、関係している企業にどのような影響を与え、どのような変革が起こるかを想定し対応しなければならない。

生産システムの変化は、労働の質も変化することが考えられる。すなわち、極めて専門性の高い労働と誰でも出来る安価な労働の二分化である。人の価値までもが変わる可能性がある。

過去、日本の企業は国内を見て競争力をつけ、その成果を世界に発信することで、競争力をつけてきた。しかしグローバル化や色々な環境変化に対応し、将来に勝ち残り持続する為に考え方を変えていく必要がある。

### 3、企業の持続的成長に向けて

色々な外部的要因にも拘わらず、企業はそれを乗り越えて持続していかなければならない。一方、どのような環境の変化が有っても、変わらない本質的な事柄がある。即ち

- 1) マーケット（顧客）によって、事業は定義される。
- 2) イノベーションの出来ない組織は衰退し、消滅する。

200 年以上続いた企業は必ず時代に応じて徐々であってもイノベーション（変化）を起こし、変化する顧客のニーズをつかみ、マーケットからの視点で自社を見てきたに違いない。

今後日本企業がグローバル化に対応するために必要な力をつける為に考えなければならない事は

- 1) 専門的知識だけでなく、哲学、科学、美学、デザイン等多種多様な価値を持ったプロデューサーが必要である。ネット社会における商品や事業システム全体のあり方を総合的にプロデュースする能力である。
- 2) グローバル化に対応出来る人材を確保するために、外国での生活や仕事の体験を持つ事、いろいろな価値観を持つ人を日本だけでなく、世界各国から募集する事、デザインやプレゼンテーション力をつける事、プロデューサーを養成する仕組みを作る事等である。

・終わりに

日本に、長く継続している企業数が、世界でもずば抜けて多い理由は、他国に類を見ない強みを持っているからであろう。その強みを自覚し活かすことである。現在世界で、日本製品に対する信頼感や、日本人に対する信用度は他国を圧倒していると言って差し支えない。

日本の良さや日本の文化、日本人の美意識を残しながら、グローバル化に対応し、ネット社会に対応し融合した時、更に強くなっていくと信じている。その為にも、変革しようとする意識を継続的に持ち続ける事である。